学会員（教員）研究動向〔1999.4～2000.3〕

名　前	種　別	書名，論文名等，（掲載書名・誌名（巻号），出版社・発行所），頁	発行年月
荒木　穂積	論文(単著)	A little known theory of developmental psychology in Japan（『立命館教育科学研究』第14号，立命館大学教育科学研究所）61-70頁	2000.1
有賀　郁敏	翻訳(共訳)	『スポーツと教育―ドイツ・スポーツ教育学への誘い―』（ベースボールマガジン社）	2000.2
	そ の 他	「Dr. Lathar Wieser, Turnvereine in Brasilien―解説―」（『体育史研究』第17号，日本体育学会体育史専門分科会）73-74頁	2000.3
飯田　哲也	論文(単著)	「現代中国社会と国民生活―統計・文献等と経験の狭間で―」（『立命館産業社会論集』第35巻第１号，立命館大学産業社会学会）1-18頁	1999.6
	報　告 (ゲストスピーカ)	「生活研究の方法」（中国社会分層与流動国際シンポジウム，中国人民大学）	1999.8
	著書(単著)	『現代日本生活論』（学文社）	1999.9
池内　靖子	論文(単著)	「ポスト・コロニアリズムとジェンダー　―ビョン・ヨンジュとトリン・T・ミンハの映像テクストを読む―」（『立命館言語文化研究』第11巻第１号，立命館大学言語文化研究所）63-72頁	1999.6
	論文(単著)	“Postcolonialism and Gender –A Reading of the Filmic Texts of Byun Young-Joo and Trinh T. Minh-ha–”（『同上』第11巻第１号）165-175頁	1999.6
	学会発表 (ゲストスピーカ)	“The ‘Actress’ and Japanese Modernity: Subject, Body, Gaze”（国際シンポジウムのメインテーマ：“Feminist Analyses of Modernity in East Asia: China, Japan and Korea” “Women and Representation”（「東アジアにおける近代に対するフェミニストの分析」）。４つのパネルテーマ：①「近代化と私的領域の再編成」，②「近代化と公的領域の再編成」，③「女性の身体とセクシュアリテイ」，④「女性と表象」に分かれ，わたしは，④であった。（韓国・李花女子大学，アジア女性学センター）	1999.6
	著書(共編著)	『21世紀のジェンダー論』（晃洋書房）	1999.11
	論文(単著)	「『女優』と日本の近代：主体・身体・まなざし」（『立命館国際研究』12巻３号，立命館大学国際関係学会）101-122頁	2000.3
	論文(単著)	“The ‘Actress’ and Japanese Modernity: Subject, Body, Gaze”（*Asian Journal of Women's Studies*, Vol.6, №1 by the Asian Center for Women's Studies, and by Ewha Womans University Press.）pp. 11-46	2000.3
	学会発表 (ゲストスピーカ)	“The ‘Actress’ and Japanese Modernity: Subject, Body, Gaze”（カリフォルニア州立サン・デイエゴ大学文学部，日本研究プログラム，ジェンダー・スタディズプログラム共催，カリフォルニア州立サン・ディエゴ大学文学部研究室）	2000.3

名　前	種　別	書名，論文名等，（掲載書名・誌名（巻号），出版社・発行所），頁	発行年月
伊藤　武夫	翻訳（共訳）	「『欲求の体系』としてのグローバル市民社会―国家ではなく，ヘーゲルに立ち返って―（上），（下）」（『立命館産業社会論集』第35巻第３号，４号）65-81頁，109-120頁	1999.12 2000.3
稲葉　哲郎	学会発表（単独） 論文（共著） 論文（単著）	「メディア・ポリティクスと受け手の心理：自民党のネガティブ・アドをめぐって」（1999年度日本選挙学会，秋田経法大学） 「テレビゲーム使用と社会的適応性に関する縦断データの分析」（『性格心理学研究』vol.8(2)）130-132頁 「情報環境としての政治報道」（飽戸弘編『ソーシャル・ネットワークと投票行動』，木鐸社）119-138頁	1999.5 1999.12 2000.1
乾　　亨	フォーラム（ｺﾒﾝﾃｰﾀｰ） 論文（共著） 論文（共著）	都市住宅学会公開市民フォーラム　「まちなか住宅の新しいかたちと規範・制度のあり方」（『都市住宅学』第27号，都市住宅学会）106-123頁 「高齢者の『安心・自立居住』を『まち』で支える『地域力』の実践的研究」（『住宅総合研究財団研究年報』№26，1999年版，財団法人住宅総合研究財団）311-322頁 「東尻池コート―東尻池町７丁目立江地区共同建替計画」（『建築雑誌作品選集2000』，日本建築学会）116-117頁	1999.10 2000.3 2000.3
文　　楚雄	シンポジウム（ｹﾞｽﾄｽﾋﾟｰｶｰ）	シンポジウム「アジアを生きる～共生の21世紀～」（大阪府立中央図書館府民講座ライ・ティ・カレッジ）	1999.8
遠藤　保子	講演（単独） 学会発表（単独） 公　　演 プロデュース	「エチオピアと日本におけるダンスと社会について」（1999年度国際交流基金派遣フェローシップ助成事業『エチオピアと日本のダンスに関する比較研究』，於：ファガーフィクレ劇場（アディスアベバ）） 「ダンスのフィールドワーク～その成果と還元をめぐって～」（日本体育学会第50回記念大会スポーツ人類学キーノートレクチャー，於：東京大学） エチオピア民族舞踊団クイーン・シバ芸術団日本公演プロジェクト，プロジェクト代表：遠藤保子　1999年度国際交流基金助成事業（エチオピア大使館主催「エチオピア文化週間」の一環として実施。99年10月11日「祭だ祭だ」関西テレビ放送，99年12月４日「民族の華麗な武術と舞踊」NHK衛星第２放送）	1999.8 1999.10 1999.10
奥川櫻豊彦	報告（共同）	“Two Pioneering Programs in International Education: Growing Pains for Institutions”（NAFSA: the Association of International Educators, 51st Annual Meeting, Denver, Colorado.）	1999.5
小澤　　亘	調査報告書（共著）	『大学生ボランティアたちのこころの軌跡』立命館教育科学プロジェクト研究シリーズⅫ　編集責任および「はじめに」1-２頁，「第３章　他者からの承認を求めて」41-60頁，「第５章　実感的な学びを求めて」79-98頁，「第７章　ネットワーカーの誕生」119-142頁，「おわりに」	2000.3

名　前	種　別	書名，論文名等，（掲載書名・誌名（巻号），出版社・発行所），頁	発行年月
		143-146頁を担当，立命館大学教育科学研究所）	
加藤　薗子	論文(単著)	「『人権としての福祉』と福祉労働」（『福祉のひろば』78号，総合社会福祉研究所）63-71頁	1999.4
	論文(単著)	「保育・福祉労働の専門性」（全国保育団体連絡会・保育研究所編『保育白書』1999年版，草土文化）42-46頁	1999.8
	論文(単著)	「社会福祉『改革』と福祉労働の変質」―いま，あらためて福祉労働の意味を問う―（『総合社会福祉研究』№15，総合社会福祉研究所）12-23頁	1999.10
	著書(単著)	『介護保険と人権―これからの介護保障のために―』（かもがわ出版）	1999.11
	論文(単著)	「ホームヘルパーの専門性と労働」（相野谷安孝・小川政亮他編『2000年日本の福祉―論点と課題』，大月書店）49-59頁	1999.12
川口　晋一	研究ノート（単著）	「スポーツと震災研究（上）」（「たのしい体育・スポーツ」No.111.　学校体育研究同志会論編，創文企画）44-45頁	1999.9
	研究ノート（単著）	「スポーツと震災研究（下）」（「同上」№112.）44-45頁	1999.10
國廣　敏文	論文(共著)	「フランスの政治制度」（田口富久治・中谷義和編『新版比較政治制度論』第３章，法律文化社）72-105頁	1999.5
櫻谷真理子	論文(単著)	「就学前児の仲間との共同と対人的態度の形成に関する検討―保育園における共有体験を土台にした話し合いの実践をとおして―」（『子どもの自発的な学習の社会的側面の解析』平成９～11年度文部省科学研究費・基礎研究Ｂ２研究成果報告書所収，研究代表者高木和子）95-106頁	2000.3
佐藤　嘉一	論文(単著)	Tomoo Otaka and Alfred Schutz in the 1930's: Their Social Theory and Its Socio-Cultural Background（『立命館産業社会論集』第35巻第１号）39-55頁	1999.6
	論文(単著)	Phenomenological Sociology in Japan: Past and Present –with Special Reference to Alfred Schutz（『同上』第35巻第２号）1-21頁	1999.9
	論文(単著)	「＜わたくし＞という現象―「社会と個人」問題の一つの展開―」（『同上』第35巻第４号）1-12頁	2000.3
篠田　武司	論文(単著)	「開発と市民社会」（小池洋一，堀坂浩太郎編『ラテンアメリカ新生産システム論』所収，アジア経済研究所）301-339頁	1999.10
	学会報告（単独）	「開発とガバナンス―ラテンアメリカに関連して―」（ラテンアメリカ政治経済学会，於：横浜国大）	1999.10
	著書(共編著)	『21世紀の経済社会』（八千代出版）全203頁	2000.3
	論文(単著)	「開発とガバナンス」（宇佐見耕一編『ラテンアメリカの雇用と社会保障政策』，アジア経済研究所）1-17頁	2000.3
	報告書（編著）	『新しい産業モデルに関するスウェーデンと日本の比較研究』（文部省科学研究費補助金・基盤研究Ｂ２成果報告書），全217頁	2000.3

名　前	種　別	書名，論文名等，（掲載書名・誌名（巻号），出版社・発行所），頁	発行年月
芝田　英昭	論文(単著)	「社会福祉基礎構造改革のねらいと批判の視点」（『賃金と社会保障』1258号，旬報社）7-13頁	1999.9
	著書(単著)	『これからの社会保障』（かもがわ出版）	1999.10
	論文(単著)	「生活問題と地域福祉」（『高齢社会と社会政策』社会政策学会誌第２号）	1999.10
	論文(単著)	「消費税の10年を検証する」（『賃金と社会保障』1261号）4-15頁	1999.11
	論文(単著)	「社会保障のあゆみと社会保障運動」（『学習の友』第559号，学習の友社）44-53頁	2000.3
鈴木みどり	論文(単著)	「子どものメディア環境を考える～グローバルな視野から」（『マス・コミュニケーション研究』№53，日本マス・コミュニケーション学会）38-54頁	1999.7
	論文(単著)	「連載　メディア・リテラシーの現在と未来：第１回・多彩な担い手たち」（『放送レポート』159号，メディア総合研究所）54-58頁	1999.7
	論文(単著)	「連載　メディア・リテラシーの現在と未来：第２回・カナダのテレビ界で今，何が始まっているか」（『同上』160号）44-48頁	1999.9
	論文(単著)	「情報社会のメディア問題に取り組むキリスト者たち」（栗林輝夫編『世界に生きる』（講座　現代キリスト教倫理・巻４），日本基督教団出版局）265-289頁	1999.10
	調査報告（単著）	「NPO活動として展開するメディア・リテラシーの取り組み―FCTの事例から―」（『生涯学習社会におけるメディア・リテラシーに関する総合的研究：第１次報告書―社会教育編―』，国立教育研究所）104-113頁	1999.10
	論文(単著)	「連載　メディア・リテラシーの現在と未来：第３回・ビデオ・リソース・パッケージ」（『同上』161号）56-60頁	1999.11
	論文(単著)	「問われるメディアの良識」（讀賣新聞（夕刊），讀賣新聞社）	1999.11
	論文(単著)	「情報化社会を生きる子どもとメディア・リテラシー」（『中学校』№555，全日本中学校長会）10-14頁	1999.11
	論文(単著)	「展望・メディア・リテラシー教育の21世紀へ向けた課題」（『放送教育』第54巻11号，日本放送教育協会）11-13頁	2000.2
	学会発表（共同）	「シンポジウム・市民のメディア参加～パブリック・アクセスを考える～」（『立命館産業社会論集』第35巻第４号）147-163頁	2000.3
高垣忠一郎	著書(共著)	「『自己肯定感』を育む―その意味と意義―」（八木英二，梅田修編『いま人権教育を問う』第３章担当，大月書店）	1999.5
高木　正朗	資料と解説（共著）	「一九世紀初頭東北農村の肝入日記―『文化二年　乙丑日記』―」（『立命館産業社会論集』第35巻第１号）157-194頁	1999.6
	論文(共著)	「飢餓と栄養供給―一九世紀中期東北地方の一農村」（『日本研究』第19集，国際日本文化研究センター編，角川書店）159-201頁	1999.6
高橋　正人	そ　の　他	「老いの心理・社会学的学説」（『高齢者の「こころ」事典』，中央法規）6-7頁	2000.3
	そ　の　他	「家族と生きがい」（『同上』）84-85頁	2000.3

名　前	種　別	書名，論文名等，（掲載書名・誌名（巻号），出版社・発行所），頁	発行年月
	そ の 他	「家族意識」（『同上』）352-353頁	2000.3
	そ の 他	「老年期の夫婦関係」（『同上』）354-355頁	2000.3
武田　春子	著書(共編著)	『21世紀のジェンダー論』（晃洋書房）	1999.11
辻　勝次	論文(単著)	「災害過程と避難・再生格差―阪神・淡路大震災，住居再建を中心に―」（『立命館産業社会論集』第35巻第１号）19-38頁	1999.6
	論文(単著)	「災害過程と職業被害・再生―阪神・淡路大震災と職業―」（『同上』第35巻第３号）1-20頁	1999.12
	論文(単著)	「研究の目的と本書の構成」（災害社会学研究会編『被災と再生の社会学―人，家族，街区―』序章，文部省科学研究費補助金成果報告書）1-10頁	2000.3
	論文(単著)	「調査環境と調査過程」（『同上』１章）11-19頁	2000.3
	論文(単著)	「災害過程と先行期，緊急期―住民構成，被害，緊急行動―」（『同上』４章）43-68頁	2000.3
	論文(単著)	「災害過程と避難再生行動―再生主体と支援資源―」（『同上』５章）69-86頁	2000.3
	論文(単著)	「災害過程と再生格差―時間と場所の階層差―」（『同上』６章）87-99頁	2000.3
	論文(単著)	「災害過程と地域特性―都市・長田と漁村・富島―」（『同上』７章）100-120頁	2000.3
	論文(単著)	「全体の総括―被害と再生の現状―」（『同上』終章）304-310頁	2000.3
中井　美樹	学会発表（単独）	「若者の性役割観の構造とライフコース観」（日本行動計量学会第27回大会　特別セッション）	1999.9
	論文(単著)	「家庭の文化と教育―幼少時の文化的環境としつけ―」（片岡栄美編『階層文化とライフスタイルの社会学的研究―日本の中流階層のハビトゥスと「場」の文化の効果―』所収，「ライフスタイルと文化」研究会）75-95頁	2000.3
	論文(単著)	「階層と友人交際」（『同上』）115-124頁	2000.3
	論文(単著)	「価値意識」（『同上』）125-130頁	2000.3
中川　順子	論文(単著)	「ノルウェーの「少子化」支援政策の動向」（月刊『女性の運動』1999年11月号，新日本婦人の会）21-24頁	1999.11
	論文(単著)	「企業社会の変容とジェンダー格差の再編―雇用の場から―」（『21世紀のジェンダー論』所収，晃洋書房）	1999.11
	調査報告（単著）	「震災と家族」（災害社会学研究会編『阪神・淡路大震災―人・家族・街区―』，文部省科学研究費補助金成果報告書）	2000.3
中村　正	論文(単著)	「アメリカにおけるドメスティック・バイオレンス加害者教育プログラムの研究」（『立命館産業社会論集』第35巻第１号）57-80頁	1999.6
	論文(単著)	「恋愛とジェンダー」（『21世紀のジェンダー論』，晃洋書房）24-32頁	1999.11
	論文(単著)	「男らしさってなんだっけ？」（『木野評論』第31号　京都精華大学情報館）	2000.3

名　前	種　別	書名，論文名等，（掲載書名・誌名（巻号），出版社・発行所），頁	発行年月
長澤　克重	学会発表（単独）	「学生の情報ネットワーク利用実態における格差の要因分析」（情報通信学会，於：麗澤大学）	1999.6
	学会発表（単独）	「学生の『学び』の構造と成長・発達―アンケート調査の結果から―」（大学教育学会，於：倉敷芸術科学大学）	1999.6
	資料紹介（単独）	「学生の『学び』の構造と意識－４回生に関する調査データから―」（『立命館教育科学研究』第14号）71-84頁	2000.1
	調査報告（共著）	「文化的実践としての学生の『学び』の構造に関する総合的研究」（『立命館教育科学研究』第16号）	2000.3
	調査報告（単著）	「学生のインターネットサービスのニーズに関する研究」（株式会社関電情報システム受託研究報告書）	2000.3
野田　正人	著書(共著)	『ちょっと待って少年法「改正」』（団藤重光，村井敏邦，斉藤豊治編，日本評論社）56-63頁	1999.5
	論文(単著)	「『学級崩壊』に学ぶ」（『地域同和』218号，（財)滋賀県解放県民センター）3-12頁	1999.6
	論文(単著)	「スクールカウンセラーとの連携」（『「いじめ」対策ハンドブック』，金子書房）86-88頁	1999.6
	著書(共著)	『子ども家庭福祉論』（高橋重宏，才村純編，建帛社）182-192，223-227，263-286頁。	1999.10
	論文(単著)	「滋賀県におけるスクールカウンセラー活動」（『花園大学社会福祉学部紀要』第８号）23-32頁	2000.3
林　堅太郎	そ　の　他	「社会が求める人材育成―大学はどこまで変わるか―」（『京都新聞』1999年６月20日）	1999.6
	そ　の　他	「関西のマージナル・レボリューション―日本海からのパラダイム転換」（『縁』90号　関西電力株式会社）	1999.10
	論文(単著)	「政府・財界による経済再生の戦略と現実―女性労働者活用の意味―」（『女性＆運動』207号）	1999.12
	国際会議発表（共同）	M. Cassim, M. Hotta and K. Hayashi, “Scholarship Programs and International Activities” World Bank, Global Development Network 1999: Bridging Knowledge and Policy, Bonn Germany	1999.12
	調査報告	「新たな地域連携のあり方と大学の役割（その２）」（立命館大学衣笠総合研究機構）	2000.3
東　自由里	論文(単著)	“The Challenges and Dilemmas of *Kokugo* Education Reform”（『立命館言語文化研究』Vol.11, №4）pp.239-253	2000.2
	調査報告発表（単独）	“Missionary Educators and Cultural Transformation”（San Francisco, USA U.S.- Japan Intellectual Exchange Forum）	2000.3
深井　純一	調査報告（単編著）	『民意　わたしはこう考える―長野県阿智村廃棄物処理場計画に関わる第四次住民意識調査報告書―』（長野県阿智村）	1999.11
	調査報告（単編著）	『兵庫県津名郡一宮町若者意識調査報告書』（深井研究室）	1999.12

名　前	種　別	書名，論文名等，（掲載書名・誌名（巻号），出版社・発行所），頁	発行年月
	著書(単著)	『水俣病の政治経済学―産業史的背景と行政責任―』（勁草書房）	1999.8
深澤　敦	書　評	大森弘喜著『フランス鉄鋼業史―大不況からベル＝エポックまで―』（『土地制度史学』第163号，土地制度史学会）72-74頁	1999.4
	論文(単著)	「非市場的調整の発展―20世紀フランスにおける労働と福祉」（『土地制度史学』別冊（創立五十周年記念大会報告集））59-68頁	1999.9
	書　評	下山房雄著『現代世界と労働運動―日本とフランス』（『社会政策学会誌』（高齢社会と社会政策）第２号，（社会政策学会）210-216頁	1999.10
ジャクリーヌ・ベルント	翻訳(単訳)	「<fontfamily><paramm>Helvetica</param>Yoshimura Kazuma: Fujiko F. Fujio (Fujimoto Hiroshi, 1933-1996), Fujiko Fujio A (Abiko Motoo, 1934-) und ihre Partnerschaft als “Fujiko Fujio” (1953-1988) LEXIKON DER COMICS, Teil 2: Personen, 30. Erg.-Lfg. 1-36頁, Meitingen: Corian-Verlag Heinrich Wimmer	1999.6
	論文(単著)	「東独における『コミック』とそれをめぐる諸『芸術志向』」（『立命館言語文化研究』11巻２号）45-57頁	1999.10
	そ の 他	「芸術文化特集」序文（『同上』11巻２号）1-4頁	1999.10
イアン・ホザック	論文(単著)	A Theme-Based Approach to Teaching Academic Writing（アカデミック・ライティングに対してのテーマ・ベース・アプローチ）（『立命館言語文化研究』11巻２号）129-138頁	1999.9
松田　博	論文(単著)	「『人民の家』の現在とアソシエーション」（『同上』68号）	1999春季
	著書(共著)	『イタリアを知るための55章』（第４章，第31章，第32章，第50章，明石書店）	1999.5
	論文(単著)	「グラムシ『獄中ノート』校訂版研究によせて」（『季報唯物論研究』69号）	1999夏季
	著書(共著)	『グラムシは世界でどう読まれているか』（「グラムシ思想のアクチュアリティ」，社会評論社）	2000.1
	論文(単著)	“L'Attualita del pensiero di Gramsci in Giappone AISTUGIA”（『イタリア日本研究協会年報』1999年版』）	2000.3
松葉　正文	翻訳(共同)	アンドリュー・セイヤー「モラル・エコノミーと政治経済学」（Andrew Sayer, Moral Economy and Political Economy）（『立命館産業社会論集』第35巻第１号）195-216頁	1999.6
	翻訳(共同)	ジョン・アーリ「マス・メディアと世界市民性」（John Urry, Mediating Global Citizenship）（『立命館産業社会論集』第35巻第２号）155-175頁	1999.9
	翻訳(共同)	トニー・ブレア「第三の道―新世紀のための新しい政治」（Tony Blair, The Third Way: New Politics for the New Century, The Fabian Society, London 1998, pp.1-20.）（『立命館産業社会論集』第35巻第４号）121-139頁	2000.3
	その他(単著)	「1990年代末の不良債権問題」（『立命館産業社会論集』第35巻第４号）	2000.3

名　前	種　別	書名，論文名等，（掲載書名・誌名（巻号），出版社・発行所），頁	発行年月
		141-145頁	
宮下　晋吉	調査報告	『Carl Zeissにおける産業研究所と研究開発の誕生：1845-1905』（平成10年～11年文部省科学研究費補助金基盤研究 B(2)研究成果報告書，研究代表者　宮下晋吉）	2000.3
森田　浩平	論文(単著)	「集団間関係の形成と変化のコミュニケーション」（『立命館教育科学研究』第14号）11-23頁	2000.1
門田幸太郎	情報処理研究（単著） 情報処理研究（単著）	「VISUAL BASICのプログラミング法３―ファイルの操作；読み込みと表示の基礎―」（『立命館産業社会論集』第35巻第１号）1-13頁 「VISUAL BASICのプログラミング法４―ファイルの操作；読み込みと表示の応用―」（『同上』第35巻第２号）125-141頁	1999.6 1999.9
柳澤　伸司	調査報告（単著） 学会発表	「北欧」（日本新聞協会編『日本新聞年鑑1999/2000』，電通発行）63-64頁 「シンポジウム・市民のメディア参加～パブリック・アクセスを考える～」（『立命館産業社会論集』第35巻第４号，産業社会学部主催）147-163頁	1999.10 2000.3
山口　　歩	論文(単著) 論文(単著)	「科学技術の開拓者たち」37,「近代工作機械の父―トンリーモーズレー」（『科学技術ジャーナル』，科学技術広報財団（科学技術庁））28-29頁 「科学技術の開拓者たち」43,「今見直されているスターリングエンジンの親―ロバートスターリング」（『同上』）30-31頁	1999.5 1999.11
山下　高行	論文(単著) 論文(単著) シンポジスト（招待） その他(単著) その他(単著)	「スポーツのさまざまな国境の超え方」（『越境を越えるスポーツ』（中村敏雄編，創文企画）67-102頁 「まじめの支配と近代スポーツ」（亀山佳明，井上俊編『スポーツ文化を学ぶ人のために』，世界思想社）264-265頁 「'99，2002年ワールドカップサッカー大会韓・日共同開催国際学術シンポジウム」（韓国体育学会主催，ソウルオリンピック会館） 「日韓W杯（１）―なんのために誰にとっての成功か」（『たのしい体育・スポーツ』115号，学校体育研究同志会編，創文企画）46-47頁 「日韓W杯（２）」（『同上』116号）44-45頁	1999.6 1999.10 1999.11 2000.1 2000.2
吉田　昌子	その他(共著)	A Checklist of Works by and about D.H.Lawrence, 1991-1996, in Japan（*"D.H. Lawrence Review"* Vol.28 Nos.1-2　The University of Texas at Austin）	1999
和田　　武	著　　書（分担執筆） 論文(共著)	「第三章　自然エネルギーの倍増を目指す欧州の挑戦と成功」（自然エネルギー促進法ネットワーク編『光と風と森が拓く未来』，かもがわ出版）12-15頁 「地球での自然エネルギーの普及と住民，自治体の役割」（季刊『群馬	1999.4 1999.4

名　前	種　別	書名，論文名等，（掲載書名・誌名（巻号），出版社・発行所），頁	発行年月
		評論』第78号，群馬評論社）	
	著書(単編著)	『環境問題を学ぶ人のために』（世界思想社）全286頁	1999.5
	著書(共編著)	『環境展望1999-2000」（実教出版）全271頁	1999.5
	論文(単著)	「地球環境時代の新エネルギー戦略戦」（『繊維機械学会誌』第52巻第６号，繊維機械学会）	1999.6
	学会発表（単独）	「EUの再生可能エネルギー普及政策－その特徴と日本との相違－」（第25回日本環境学会研究発表会）	1999.7
	学会発表（共同）	「自治体の温暖化防止・環境保全対策の現状と課題－アンケート調査結果に基づいて」（第25回日本環境学会研究発表会）	1999.7
	そ の 他（単著）	「教室で語る学問・環境保全論 1 地球環境問題の特徴と温暖化防止の条件」（『大学進学研究』Vol.21-3，(№112)，大学進学研究会）	1999.11
	そ の 他（単著）	「今日の環境問題と学校での生活と学習」（『教育と施設』67冬号，文部省監修・社団法人文教施設協会）34頁	1999.12
	そ の 他（単著）	「教室で語る学問・環境保全論　日本の温暖化対策と原子力拡大政策」（『大学進学研究』Vol.21-4，(№113)，大学進学研究会）	2000.2
	論文(共著)	「食品と日用品の容器包装における内分泌かく乱化学物質関連プラスチックの使用実態」（『人間と環境』第28巻第１号，日本環境学会）	2000.3
	論文(単著)	「環境保全活動の進展と産業構造の展開」（『環境情報科学』第29巻１号，環境情報科学協会）	2000.3